学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学　兵庫医療大学

vol.224
2014年新年号

平成26年度 年頭の言葉

天津医科大学との国際学術交流シンポジウム
入試速報、篤志解剖体慰霊祭、醫聖祭、学位授与
海鳥祭、ホームカミングデイ
病診・病病連携の会、老人保健施設運動会
認定看護師教育課程入学式、省エネルギー結果

平成２６年　年頭の言葉

今この時、如切如磋如琢如磨は本学の本懐に非ずや

理事長 | 新家 荘平

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が千里を駆ける駿馬の勢さながら充実した一年となりますよう心より祈念いたします。

さて、昨年、わが国は政治・経済・外交・エネルギー等をはじめ幾多の困難な課題を抱えたまま干支通りに蛇行を繰り返し、次第に深刻さを増す少子高齢化社会に深いかげりを落としてきました。３．１１に続く大規模な自然災害の発生もその流れに棹をさしてきました。

幸い、政権交代により、アベノミクスが登場し少しは明るい日射しが戻ってきた様ですが、１，０００兆を超えた負債を抱えるわが国の財政状況の中では市民に忍耐を強いる以外、特効の新しい国策は無いようです。医療の経済事情についても同様で、消費税増税は言うまでもなく、診療報酬の改正も抑制の流れの中にあり、医療収入が大学の総収入の７０％を占める本学にとっても予断を許さない情況が続いています。

しかし、このような厳しさに満ちた社会環境にありながら、２年前に４０周年の節目を終えた本学は、この一年、更なる発展を求めて次世代に向かう新しい第一歩を踏み出すことができました。

３月には、４０周年のモニュメントともいうべき急性医療総合センターが、太城病院長の指揮のもと見事に立ち上がりました。これにより本院の質の高い特定機能病院あるいは災害拠点病院としての機能が更に強化されることになりました。

また、西宮キャンパス再構築の嚆矢としての、新教育研究棟建設の青写真が中西学長を中心に様々な最新の知恵を織り込んで仕上がりました。

その他、西洋と東洋の医学の架け橋役を目指す孔子学院も動き始めました。わが国で２番手の手術看護分野での認定看護師教育課程も医療人育成センター内に開設されました。大学の国際認証に向けた教育改革の準備も始まりました。部分的ながらも臨床講座、特に外科学講座の再編成も緒に就きました。ささやま医療センターにおいてもその運営改革に新しい一石が投じられました。そして、それらを俯観する大局観のもと、難波教授を長とする経営企画室の先導により、平成１８年から６年間にわたった第１次中期事業計画の延長線上に今後５年間の道標となる第２次事業計画の基本構想及び推進体制が決定されました。

「連携と進化」という副題がついたその計画の指針としては、“教育・研究・診療における更なる質の充実・向上”は言うまでもなく、“経営基盤安定に向けた運営の改善、効率化”“教職員の福利厚生の充実、及び能力育成”“学内外における情報の共有化”等が挙げられていますが、これらの各課題に対して、２大学２病院の横断的な連携を重視しながら次代を見据えつつ効率的に取り組んでゆくことになりました。

そして新しく迎えた午（うま）年。これを契機として全教職員がこれまでに積み上げてきた教育・研究・診療における輝かしい実績や外部からの高い評価に奢ることなく、また、昨今わが国を覆っている閉塞感に怯むことなく、事業計画の掲げる目標に向かって如切如磋如琢如磨を繰り返しつつ、千里の道をひたすら邁進していくことになりました。たまたま、昨年、４０年に一度しか開花しないといわれているアオノリュウゼツランも校庭内で花を飾り、この次世代への出立を前祝いしてくれましたが、改めてこの天の恵みに応えるべく、全教職員各位の胸中に4色のZ旗を掲げつつ奮励努力していただきたいと念ずる次第であります。

最後にひとこと、“本学が全教職員各人のために何ができるか”を問う前に、“各人が本学のために何ができるか”を自問自答しながら、自らの志を更に高揚させていただくようお願いして新年の挨拶といたします。

平成２６年　年頭の言葉

新健診センター（健康科学クリニック）の開設に向けて

副理事長 | 波田 壽一

皆様明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって幸多い良い年になることを祈念いたしております。

昨年は年頭のご挨拶で、急性医療総合センターが竣工したことの紹介と、新教育研究棟の建設に向けての準備状況をご紹介いたしました。その後中西学長を中心に詳細な検討が行われ、最終的に新教育研究棟は１２階建ての延べ床面積３１，５００m^{2}の建物にすることと、各階にどのような施設を入れるかも決定し、昨年１１月の教授会で承認され、更に理事会・評議員会でも了承されました。工事を平成２７年度から平成２８年度にかけて行い、平成２９年度４月から新しい施設を使用するという事になっています。

急性医療総合センターと新教育研究棟の建設は兵庫医科大学開学４０周年記念事業として行われていますが、更に西宮キャンパスグランドデザインを遂行してまいりますには昨年も述べましたが大変な資金を必要と致します。大学の収入は大まかには学生の皆さんからの学納金と病院の収入、それに国からの補助金ということになります。学納金は全国的に下げる傾向にありますし、病院の収入は国の財政が赤字であり、且つ医療費の増大が見込まれることから診療報酬点数が上がることは期待できません。国からの補助金の増額も同様に期待はできません。その為に何か大学の財務面で貢献できる補助事業はないかと考えて、新たに健診事業を拡大して行う事にいたしました。

現在、新健診センター（健康医学クリニック）設置準備室を設けて、検討中でありますが、設置形態は人間ドックを中心にした検診とクリニックを併設した形にし、理事長直轄の組織にすることが決定しております。設置場所は大学会館の南側の駐輪場と森村家所有の駐車場（約４５０m^2）合わせて約1，０００m^{2}の敷地に3階建ての建物にし、1階をクリニック、２階、３階をドックを中心にした検診部門にする計画を鋭意検討中であります。その素案を今年1月の理事会・評議員会にお諮りする予定です。その後、行政側に審査をしていただき、それが終了しますと工事にかかり、現時点では平成２７年４月に開業すべく準備をしているところであります。日本は今後一層の高齢化社会の到来が予測され、国民の２人に一人はガンにかかることも想定されていますので、本学の人間ドックを中心にした検診でがんの早期発見、早期治療により地域住民の方々の健康の維持・増進と健康管理に貢献するとともに本学の経営面でもお役に立てるようにできればと考えております。また、同窓会会員の方々や後援会の方々にもご利用いただき、健康管理の一助にしていただくこともお願いしたいと思います。引き続きご支援、ご協力の程宜しくお願い致します。

vol.224. ～2014年1月4日発行～

CONTENTS

01　平成26年年頭の言葉　新家理事長・波田副理事長
03　最近の主な出来事

■兵庫医科大学
05　平成26年年頭の言葉　中西学長
　　天津医科大学との第7回国際学術交流シンポジウム
06　炎症性腸疾患学外科部門 主任教授就任挨拶
　　歯科口腔外科学 教授就任
　　講座の設置および再編について
　　学位授与
07　医学部・大学院　入試速報
08　篤志解剖体慰霊祭
　　特別講義・FD講演会
09　醫聖祭（大学祭）
11　科研費審査委員表彰
　　科研費公募要領説明会開催
　　財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

■兵庫医療大学
12　平成26年年頭の言葉　馬場学長
　　株式会社エイチ・アイからの寄贈
13　教授就任
14　医療職体験イベント
15　海鳥祭（大学祭）
17　第3回ホームカミングデイ開催
　　第3回神戸マラソンを応援
18　学部　入試速報
19　大学院　入試速報
　　入試対策講座＆大学見学会開催

■兵庫医科大学病院
20　平成26年年頭の言葉　太城病院長
　　フィリピン台風被害に対する国際医療支援活動
21　週刊ダイヤモンド頼れる病院ランキング
　　第10回病診・病病連携の会開催
　　兵庫医大フロンティア医療セミナー

■ささやま医療センター/
　ささやま老人保健施設
22　平成26年年頭の言葉　福田病院長
　　地域連携・総合相談室長　就任挨拶
23　病院機能評価認定
　　災害訓練への参加について

■学校法人兵庫医科大学
24　平成25年度認定看護師教育課程（手術看護分野）入学式
　　省エネルギー対策 夏季の結果と冬季目標
25　兵庫医科大学同窓会緑樹会　新会長就任
　　医療人育成センター移転
　　40年勤続表彰
26　マイクロバスのご寄付に際して
27　学校法人兵庫医科大学基金兵医・萌えの会　状況報告
28　兵庫医科大学開学40周年記念事業募金状況報告
　　理事・評議員の異動
29　規程等の制定・改正・廃止
30　報道機関への出演・掲載
31　1月～4月の行事予定
　　ご意見お問合わせ

最近の主な出来事

10月 October

4	■兵庫医科大学	大学院前期入学試験合格発表	→P7
5	■兵庫医科大学病院	第10回病診・病病連携の会	→P21
9	■兵庫医科大学病院	市民健康講座 「最新の大腸腫瘍に対する内視鏡治療」	
10	■兵庫医科大学病院	第14回フロンティア医療セミナー	
11	■学校法人兵庫医科大学	自衛消防訓練（基本訓練）	→P4
12	■兵庫医療大学	ホームカミングデイ	→P17
12～13	■兵庫医療大学	海鳥祭（大学祭）	→P15
13	■兵庫医療大学	医療職体験イベント	→P14
15	■学校法人兵庫医科大学	認定看護師教育課程（手術看護分野） 入学式	→P24
	■兵庫医科大学	篤志解剖体慰霊祭	→P8
23	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「膵臓がんのはなし」	
24	■兵庫医科大学	汕頭大学医学院留学成果報告会	→P4
下旬	■ささやま老人保健施設	ささやま老人保健施設 運動会	→P4

11月 November

2	■兵庫医療大学	推薦入学試験（専願公募制）	→P18
3	■兵庫医療大学	推薦入学試験（公募制A日程）	→P18
5	■兵庫医科大学病院	医療監視	
	■兵庫医療大学	仕事研究セミナー（薬学部）	
7	■兵庫医科大学病院	小児患者さん対象　人形劇	
10	■兵庫医科大学	一般公募制推薦入学試験・ 地域指定制推薦入学試験	→P7
12	■兵庫医療大学	推薦入学試験 (専願公募制)(公募制A日程) 合格発表	→P18
13	■兵庫医科大学病院	市民健康講座 「麻酔を安全に受けるために」	
	■兵庫医科大学病院	第15回フロンティア医療セミナー	→P21
16	■兵庫医科大学	一般公募制推薦入学試験・ 地域指定制推薦入学試験合格発表	→P7
16～17	■兵庫医科大学	第42回醫聖祭(大学祭)	→P9
18	■ささやま医療センター	ホスピタルコンサート	
20	■兵庫医科大学	天津医科大学との第7回国際学術交流シンポジウム	→P5
24	■兵庫医療大学	入試対策講座＆大学見学会	→P19
27	■ささやま医療センター 老人保健施設	紅葉ドライブ(各フロア)	

10/11 ■学校法人兵庫医科大学
自衛消防訓練＜基本訓練＞

今年も、6号館精神科病棟における自衛消防訓練＜基本訓練＞を行いました。まずは、病棟スタッフ全員による避難経路等の確認と、屋内消火栓及び消火器等の位置について、平面図も用いながら確認を行いました。

次に、実際の消防設備の操作方法について、まずは屋内消火栓を使って実際にホースを延長し、中庭での放水訓練を行いました。6号館中庭での放水訓練では、ホース搬出時の声掛けによる伝達の重要性が確認できました。

消火器取扱訓練では、消火器自体の使用方法、放水時の注意点から、初期消火の役割、火災発生時の行動（通報、初期消火、避難誘導の行動順位）についても確認し、スタッフ全員が体験することができました。

6号館での消防訓練は今年で最後になりますが、今後も患者さんの安心安全を守る立場を忘れず、これまで以上に防災意識を高める良い機会となりました。

10/下旬 ■ささやま老人保健施設
ささやま老人保健施設 運動会

ささやま老人保健施設におきまして、運動会を開催しました。

通所の利用者さんは利用日が異なるため、10月21日から25日の毎日開催しました。風船割りゲームや玉入れなどチームに分かれて競い合うことで、いつも以上の力がでていたように思います。職員の障害物競争では、顔を白くしあめ探しやパン食い競争など、職員も慣れない競技に苦戦しましたが、利用者さんの応援の声で力いっぱい頑張ることができました。

10月30日と11月6日には入所の利用者さんの運動会を開催しました。運動会前には各階で運動会に向けて玉入れの練習をしている姿も見られました。皆さんの努力の結果が運動会で発揮できたでしょうか。実習中の兵庫医療大学看護学生にも参加してもらい、大人数の盛り上がった運動会を開催することができました。

10/24 ■兵庫医科大学
汕頭大学医学院留学成果報告会

3月15日～21日の1週間汕頭大学医学院に留学していた学生4名より、9-3講義室にて留学成果報告会が行われました。

会場には波田副理事長、中西学長、三輪国際交流センター長も足を運ばれ、報告を行った学生は各先生方の質問に答えるなど、留学先で学んだことを発表しました。日本とは違う環境や中国の学生の熱意に刺激を受け、その気持ちを今後に生かしていきたいとの報告がありました。

11/7 ■兵庫医科大学病院
小児患者さん対象 人形劇

入院中の子どもたちに笑顔になってもらおうと、NPO法人兵庫県子ども文化振興協会主催で人形劇「ビーンズ・ドリーム　まめちゃんのゆめ」の公演が行われ、1歳4ヵ月から14歳までの11人と保護者の皆さんが参加しました。

演じたのは「くわえ・ぱぺっとステージ」のつげくわえさんで、手作りの舞台セットと可愛い人形を使っていくつもの役をコミカルに演じ、子どもたちを人形劇の世界に引き込んでいました。

人形劇の後はタオルで子どもたちと一緒に人形を作り、笑顔のあふれる時間を過ごしました。

発展と深化

兵庫医科大学　学長　中西 憲司

皆様、明けましておめでとうございます。平成２６年が皆様にとりまして、良い年となりますことを祈念いたします。

昨年の挨拶でも書きましたが、本学は今や、「医師国家試験合格率上位校」、「私立医科大学中トップレベルの科学研究費獲得校」、そして「トップランクの病院を持つ大学」と、まさに三拍子揃った医科大学に成長いたしました。この場を借りまして、皆様のこれまでのご努力に対し、心から感謝申し上げたいと思います。

確かに本学はこの４１年間着実に発展してまいりました。今ではある程度、世間から注目され、尊敬もされる大学になりました。一般的な言い方をしますと「発展」とは、潜在的な可能性の段階から、姿かたちが明らかとなった段階に達したことを言います。本学の教育、研究、診療のかたちが、外から見える段階に達した証拠です。これから本学に求められるのは「深化」であります。「深化」とは現在のかたちを深め極めるとともに、新たな付加価値を創造することだと思います。そのためには、現在の本学に何が足り、何が不足しているかを見極め、不足を解決することが必要だと思います。

ハード面からいいますと、苦しい財政ではありますが、本学のさらなる発展に必須である新教育研究棟を建設します。既に基本設計を終え実施設計に入るところで、平成２７年度に工事着工、平成２９年４月に使用開始となります。ソフト面では、国際交流・海外留学等を通じた教育のグローバル化、研究マインドを持った臨床医の育成、基礎医学研究医の育成、そして優秀な外科医の育成が、急務であります。加えて、女性医師・女性医学研究者の積極登用なども、進めたいと思います。そうすることで本学を真に実力のあるブランド大学に成長させたいと思っております。

天津医科大学との第７回国際学術交流シンポジウム

平成２５年１１月２０日、天津医科大学より王 化泉先生（血液科 教授）と、逄 崇杰先生（感染免疫科 副主任）の２名の先生にお越しいただき、第７回国際学術交流シンポジウムを開催しました。シンポジウムに先立っては、病院や共同研などをご見学され、時折質問などを交えながら熱心に見学されました。

午後からは９ー２講義室にて、国際交流センター 三輪 洋人センター長の司会によりシンポジウムが開始され、学長からの開会の辞の後、病原微生物学の筒井 ひろ子主任教授を座長として、逄 崇杰先生、内科学 リウマチ・膠原病科の佐野 統主任教授による講演と、内科学血液内科の小川 啓恭主任教授を座長として、内科学血液内科の井上 貴之病院助手と王 化泉先生の講演が行われ、波田副理事長の閉会の辞にて終了しました。

主任教授就任挨拶〈１２月１日就任〉

炎症性腸疾患学外科部門
池内 浩基

このたび、新しく設立された、炎症性腸疾患学講座外科部門の主任教授に就任させていただきました。私は、昭和６２年に本学を卒業後、旧第二外科に入局し、約２年半を除いて、本学に勤務してきました。

炎症性腸疾患（ＩＢＤ）は、恩師の故下山 孝教授と宇都宮 譲二教授の主要な研究領域であったため、研修医時代から多くのＩＢＤ患者さんの診療に携わってきました。ＩＢＤ領域の患者数は右肩上がりの増加を示しており、各地でＩＢＤセンターは設立されてきていますが、ＩＢＤを専門とする内科医と外科医が毎日診療している施設は兵庫医科大学病院だけです。潰瘍性大腸炎、クローン病を合わせると約２，０００名の患者さんが当院で治療を受けています。これは本邦では最も多い患者数です。今までの伝統を受け継ぎながら、ＩＢＤ領域の診療・研究・教育を発展させていきたいと思っております。今後ともご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

教授就任

歯科口腔外科学
本田 公亮
平成２５年１２月１日就任

略歴

昭和５８年	3月	福岡歯科大学歯学部　卒業
	6月	兵庫医科大学歯科口腔外科　臨床研修医
昭和６０年	8月	兵庫医科大学歯科口腔外科　医員
昭和６１年	11月	兵庫医科大学歯科口腔外科学　助手
平成１８年	8月	兵庫医科大学歯科口腔外科学　講師
平成２３年	6月	兵庫医科大学歯科口腔外科学　准教授
平成２４年	1月	島根大学医学部歯科口腔外科学　嘱託講師
平成２５年	12月	兵庫医科大学歯科口腔外科学　教授

講座の設置および再編について

平成２５年１２月１日より「炎症性腸疾患学講座」を設置し、炎症性腸疾患学講座外科部門と炎症性腸疾患学講座内科部門の２部門からなる大講座とします。

平成２６年４月１日からは、心臓血管外科と呼吸器外科を外科学講座へ編入します。

学位授与

学位記（甲）

報告番号	氏　名	専攻系	授与年月日	博　士　論　文　名
甲第634号	川﨑（かわさき） 加織（かおり）	先端医学	H25.7.4	Age-related morphometric changes of inner structures of the skin assessed by in vivo reflectance confocal microscopy
甲第635号	田ノ岡（たのおか） 征雄（まさお）	医科学	H25.7.4	Three-dimensional radiochromic film dosimetry for volumetric modulated arc therapy using a spiral water phantom
甲第636号	吉岡（よしおか） 良晃（よしてる）	医科学	H25.10.3	大動脈二尖弁における上行大動脈拡大の形態と組織学的な特徴

学位記（乙）

報告番号	氏　名	専攻系	授与年月日	博　士　論　文　名
乙第355号	楠（くすのき） 宜樹（よしき）	内科学 糖尿病科	H25.10.3	Effect of additional administration of acarbose on blood glucose fluctuations and postprandial hyperglycemia in patients with type 2 diabetes mellitus under treatment with alogliptin.

平成２６年度 兵庫医科大学 医学部入学試験　速報

推薦入学試験

一般公募制推薦入学試験

試験期日：平成２５年１１月１０日（日）
試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書
合格発表：平成２５年１１月１６日（土）

募集人員	約１５名
志　願　者	９９名（６０名）
受　験　者	９９名（６０名）
合　格　者	１５名（９名）
実質競争倍率	６．６倍 （９．５倍 地域公募併願者を含む）

※実質競争倍率は「受験者／合格者」（ ）内は、女子・内数

地域指定制推薦入学試験

試験期日：平成２５年１１月１０日（日）
試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書
合格発表：平成２５年１１月１６日（土）

募集人員	５名以内
志　願　者	４８名（２８名）
受　験　者	４８名（２８名）
合　格　者	５名（２名）
実質競争倍率	９．６倍

※実質競争倍率は「受験者／合格者」（ ）内は、女子・内数

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験

一般入学試験

定員増（研究医枠）が文部科学省より認められ一般入試の募集人員を2名増員します（75名→77名）。詳細は大学HPをご覧ください。

募集人員	約７７名	
出願期間	平成２５年１２月９日（月）～平成２６年１月１４日（火） 消印有効	
試験科目	第１次試験	数学（１５０点）、外国語（１５０点） 理科（物理、化学、生物から２科目選択）（２００点） 小論文（１次判定では使用せず、２次試験合格者選抜のときに使用）
	第２次試験	個人面接
試験期日	第１次試験	平成２６年１月２２日（水）
	第２次試験	平成２６年２月１日（土）または２日（日） （希望日を出願時に選択）
試験会場	第１次試験	大阪会場：インテックス大阪 東京会場：五反田TOCビル 福岡会場：福岡国際会議場
	第２次試験	兵庫医科大学
合格者発表	第１次試験	平成２６年１月３０日（木）
	第２次試験	平成２６年２月７日（金）

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	約１５名	
出願期間	平成２５年１２月９日（月）～平成２６年１月１７日（金） 消印有効	
試験科目	第１次試験	国語（近代以降の文章のみ）、数学（数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B）、理科（物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰから２科目選択）、英語（リスニング含む）
	第２次試験	個人面接
試験期日	第１次試験	大学入試センター試験日
	第２次試験	平成２６年２月１８日（火）
試験会場	第１次試験	大学入試センターが指定する試験会場
	第２次試験	兵庫医科大学
合格者発表	第１次試験	平成２６年２月１３日（木）
	第２次試験	平成２６年２月２４日（月）

※詳しくは平成２６年度学生募集要項をご確認ください。

平成２６年度 兵庫医科大学 大学院入学試験　速報

前期入学試験結果

医学研究科入学試験（前期募集）

試験期日：平成２５年９月１３日（金）
試験会場：兵庫医科大学
選考方法：外国語試験、面接
合格発表：平成２５年１０月４日（金）

受験者	１６名
合格者	１６名

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第６３回）

試験期日：平成２５年９月１３日（金）
試験会場：兵庫医科大学
選考方法：外国語試験
合格発表：平成２５年１０月４日（金）

受験者	３名
合格者	２名

後期入学試験

医学研究科入学試験（後期募集）

出願期間	平成２６年１月２０日（月）～２月１日（土）
試験期日	平成２６年２月１４日（金）
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接（担当教授との面接が終了している場合には免除することがある）
合格発表	平成２６年３月１４日（金）

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第６４回）

出願期間	平成２６年１月２０日（月）～２月１日（土）
試験期日	平成２６年２月１４日（金）
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	平成２６年３月１４日（金）

※詳しくは平成２６年度学生募集要項をご確認ください。

平成２５年度 兵庫医科大学 篤志解剖体慰霊祭

平成２５年１０月１５日、平成記念会館において、平成２５年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭が執り行われました。医学教育・研究及び医療の進歩と発展のために、自らのご遺体を捧げられた方々を祭祀するため、本学では毎年１０月第３火曜日に無宗旨形式で執り行っております。

本年度は平成２４年１０月１日から平成２５年９月３０日の期間に、その身を解剖に捧げられた、系統解剖ご霊位６４柱、病理解剖ご霊位２４柱のあわせて８８柱を祭祀させていただきました。

式はご霊位の奉読に始まり、全員黙祷に続いて中西学長、太城病院長、解剖担当教室を代表して廣田主任教授による慰霊の詞、西宮市長から弔辞の詞をいただきました。続いて、在学生代表の第２学年次芝野綾香さんより謝意の詞が述べられ、解剖担当教室の野口主任教授からはご遺族の方への謝意が述べられました。その後、故人のご冥福をお祈りして参列者全員による献花が行われ、本学教職員並びに学生は、ご霊位に対し医学・医療の向上に寄与することを誓いました。

ここに、あらためて全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様の深いご理解に対し、心から御礼申し上げます。

学生代表による慰霊の詞

特別講義・ＦＤ講演会が開催されました

平成２５年１０月１７日、旭川医科大学 復職・子育て・介護支援センター センター長 皮膚科学講座 准教授 山本 明美先生にお越しいただき、９－２講義室にて特別講義「旭川医大での医師のワークライフバランス授業からみえてきたもの」、９－１講義室にてＦＤ講演会「すべての職員が働きやすい環境をめざす旭川医大の取組み」が開催されました。特別講義とＦＤ講演会の間には、ティータイムが設けられ、山本先生を囲んでフリートークが行われました。

特別講義には学生９８名、ＦＤ講演会には教職員１６０名が参加し、女性医師のワークライフバランスについてなど大変興味深いお話しを伺うことができました。

旭川医科大学 復職・子育て介護支援センター センター長
皮膚科学講座 准教授 山本 明美先生

兵庫医科大学 第42回 醫聖祭

平成25年11月16日、17日に第42回大学祭「醫聖祭」を開催しました。
昨年の雨模様とは打って変わって、今年は秋らしい晴天にめぐまれ、たくさんの方々に模擬店やステージイベント、医学講演会などを楽しんでいただきました。

Slogan

航 ～WATARU～

今年は急性医療総合センターが開設され、平成27年度からは新教育研究棟の建設が始まり、兵庫医科大学は新しい一歩を踏み出しています。そんな中、学生の私たちもこれから立ち向かってくる新しい海を航海しよう!という意気込みで、今回のスローガンを「航～WATARU～」に決定しました。

医学講演会　11月17日　平成記念会館

元阪神タイガース　**片岡　篤史**さん

『日々新たチャレンジ～関西魂で歩んだ野球道～』

元阪神タイガース選手の片岡 篤史さんをお招きし、医学講演会を開催しました。
片岡さんは、平成3年のドラフト2位で日本ハムファイターズに入団し、選手会長を務めるなど活躍され、平成13年オフにFA宣言し阪神タイガースに入団後、平成18年の現役引退まで阪神タイガースで活躍されました。

講演会は3部構成で進められ、第1部は片岡さんの小学校～大学までの練習での厳しい日々や、その中で感じたことなど野球に対する熱い思いを語っていただきました。
第2部は観客の皆さんからの質問に対し、片岡さんに直接お答えいただきました。熱心な阪神ファンのお客さんも多く、阪神タイガース時代の出来事やこれからの阪神タイガースに期待すること、片岡さんの現役時代の思い出など、ざっくばらんに楽しいお話をお聞かせいただきました。
第3部は抽選コーナーとして、片岡さんに抽選箱からくじを引いていただき、20名の方に手渡しで直筆サイン色紙をプレゼントしました。

解剖展示・医療器具展示(11月16日・17日)

医療・医学への興味・関心を深めていただけるよう、様々な医療器具が展示され、学生が来場者に分かり易く説明しました。
パネル展示の今年のテーマは"ぎっくり腰とDNA"で、症状の解説や治療法などについて展示が行われました。

軽音ライブ(11月16日・17日)

4号館の4-1講義室にて、軽音楽部によるライブ演奏が行われました。

バザー(11月16日)

今年もたくさんの方にお越しいただき、大盛況でした。

バングラデシュ写真展(11月16日・17日)

5号館1階ロビーにて、今年の夏にバングラデシュを訪問し、医療現場や孤児院などを撮影した写真が展示されました。

美術部・写真部 作品展示(11月16日・17日)

平成記念会館のエントランスにて部員たちの作品と共に、新家理事長や大学の先生方の絵画・写真も展示されました。

模擬店(11月16日・17日)

各クラブから模擬店が出され、たこ焼きやカレー、おでんなど中庭ステージ前には常にいい匂いが漂い、たくさんの方が舌鼓を打っていました。

ステージイベント

◆開会式
大学祭実行委員長とバックダンサーたちによる開会宣言!

◆FOOD FIGHT
ハンバーガーの早食い競争!
各クラブから大きな声援が飛んでいました。

◆ビンゴ大会
豪華景品の数々を狙って、参加者のみなさんも真剣にカードを見つめていました。

◆芸人お笑いライブ
矢野・兵動、モンスターエンジン、バイク川崎バイクの豪華3組のゲストにお越しいただきました。

◆Mr.いい男選手権
スーツ姿と一発芸で競い合いました。

平成２５年度「科研費」審査委員表彰

独立行政法人日本学術振興会では、学術研究の振興を目的とした科学研究費助成事業を行っており、公平・公正な審査のため第１段審査（書面審査）と第２段（合議審査）の２段階ピア・レビューを行っています。

公平・公正な審査を行うにあたり、有意義な審査意見を付した審査委員に対する表彰が行われており、今年度は約５，３００名の第１段審査（書面審査）委員の中から１２４名が表彰者として選考され、兵庫医科大学公衆衛生学の島正之主任教授が表彰されました。平成２５年１１月２７日に学長室で表彰状の贈呈式が行われ、中西学長から島主任教授に表彰状と記念品が手渡されました。

科研費公募要領等説明会開催

平成２５年１０月７日９号館５階の９－１講義室にて、科研費公募要領等説明会が開催されました。

中西学長の開会の挨拶に始まり、病原微生物学 筒井主任教授による「申請書類の書き方」と題した講演が行われ、科研費の応募に係る申請書類の書き方のコツや審査員の目線に立った申請書類の作成に際しての留意事項についてユーモアを交えて語っていただきました。こののち、学務課より科研費への申請方法、事務的な留意事項及び科研費に初めて応募する研究者を対象とした科研費の基本的な制度に関する説明が行われました。

本説明会により、申請書類の書き方の向上及び科研費への応募意識の促進を図り、本学の科研費の採択件数及び採択率の向上が期待されます。

平成２５年度 科学研究費助成事業
（科学研究費補助金）（研究活動スタート支援）交付決定一覧

（単位：千円）

所　属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
研究活動スタート支援				
内科学（腎・透析科）	名波　正義	糖尿病性腎症での尿細管・間質線維化における細胞内鉄代謝異常の関与	1,000	300
計（1件）			1,000	300
			1,300	

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)内藤記念科学振興財団	Long Interspersed Element 1 の薬物依存形成機構に関する生物学的研究	奥平　准之	3,000
(公財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団	臨床決断支援システムを用いた薬剤性有害事象対策の有効性	森本　剛	3,000

医療大、２ｎｄステージ１年目を振り返って

兵庫医療大学　学長　**馬場 明道**

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年４月に本学第２代の学長に就任し、ほぼ、１年が経過しました。この間、本学の教職員、兵庫医科大学の関係各位の絶大なご支援をいただいたこと改めてお礼申し上げます。

今年度を本学２ｎｄステージの１年目として、４月に本学の目指すところを学内外に提示してきました。その骨子は、１ｓｔステージで確立した本学の教育理念、目標をより実質化する中で、医療系私立大学としての立ち位置を確固としたものにすることです。そのため、入口（受験生確保）、進級、出口（国試、就職、生涯教育）の３つを戦略目標として、各々担当の副学長を充て、具体の方策を実施してきました。

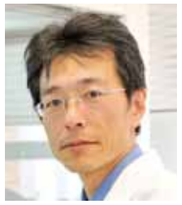
特に、昨年度の国試について、リハ、看護の両学部は所定の成果を挙げたものの、初めての国試であった薬学についてはきわめて厳しい結果となり、皆様にもご心配をおかけしています。この最重要課題については、法人のご支援もいただき、本学として、喫緊の対応と中長期的対応の両面から、可能な限りの組織的取り組みを実施しております。

医療系大学（学部）が、ますます過当競争に向かう状況に加えて、受験生の低学力化という深刻な事態の中で、どのようにして良質な学生を確保し、進級させ、国試・就職に到達させるかは本学として最重要課題であります。兵庫医科大学との強い連携の中でこれら課題を克服し、医療系大学としての位置を確保していきます。本年も兵庫医療大学へのご指導、ご鞭撻のほどお願いいたします。

株式会社エイチ・アイからの寄贈

平成２５年１０月２１日、株式会社エイチ・アイより兵庫医療大学に高機能体成分計測器「ボディコンポジションアナライザーＩｎＢｏｄｙ４３０」が寄贈されました。この計測器は、体重・骨格筋量・体脂肪量・体水分・タンパク量などの体成分を高い精度で測定できるポータブル体成分分析装置です。森田代表取締役社長から目録が贈呈された後、馬場学長から「贈られた品は、学生が自由に利用できるよう保健室に設置し、学生の生活習慣管理などに役立てていきたい。」との感謝の言葉がありました。

教授就任



薬学部
上田　晴康
平成２５年１０月１日就任

略歴

昭和６１年　４月　徳島大学　薬学部製薬化学科　卒業
昭和６３年　３月　徳島大学大学院　薬学研究科　修士課程薬学専攻　修了
平成３年　３月　徳島大学大学院　薬学研究科　博士後期課程薬学専攻　修了
平成３年　４月　日本チバガイギー株式会社　研究開発統括部　前臨床研究部　生物研究室　研究員
平成６年　７月　日本チバガイギー株式会社　医薬事業部　研究開発統括部　創薬ユニット　薬理グループ　グループリーダー
平成８年　４月　ノバルティスファーマ株式会社　研究部　皮膚疾患グループ　研究員
平成９年　４月　ノバルティスファーマ株式会社　研究部　薬理グループ　研究員
平成１０年　９月　ノバルティスファーマ株式会社　研究部　薬理グループ　ラボA　ラボヘッド
平成１１年　１０月　兵庫医科大学　研究生
平成１１年　１２月　兵庫医科大学　先端医学研究所生体防御部門　助手
平成１７年　１２月　兵庫医科大学　先端医学研究所生体防御部門　講師
平成２０年　４月　兵庫医療大学　薬学部医療薬学科　准教授
平成２５年　１０月　兵庫医療大学　薬学部医療薬学科　教授

共通教育センター
加藤 精一
平成２５年１０月１日就任

略歴

平成９年　３月　東京大学工学部　計数工学科数理工学コース　卒業
平成１１年　３月　東京大学大学院　理学系研究科天文学専攻修士課程　修了
平成１４年　３月　東京大学大学院　理学系研究科天文学専攻博士課程　修了
平成１４年　４月　国立大学大阪大学　サイバーメディアセンター　教務職員
平成１６年　４月　国立大学法人大阪大学　サイバーメディアセンター　助手
平成１８年　６月　兵庫医科大学医学部医学科　数学教室　助手
平成１９年　４月　兵庫医療大学　共通教育センター　講師
平成２２年　４月　兵庫医療大学　共通教育センター　准教授
平成２５年　１０月　兵庫医療大学　共通教育センター　教授

共通教育センター
柏村 信一郎
平成２５年１０月１日就任

略歴

昭和５４年　３月　島根大学　文理学部生物学科　卒業
昭和５７年　３月　大阪大学大学院　医学研究科医科学修士課程　修了
昭和６１年　３月　大阪大学大学院　医学研究科博士課程　修了
昭和６１年　４月　佐賀医科大学　免疫血清学講座　助手
平成元年　９月　日本政府交換客員研究員としてアメリカ合衆国ワシントン州立大学　免疫・微生物学講座へ留学
平成３年　９月　佐賀医科大学　免疫血清学講座　助手　復職
平成５年　７月　兵庫医科大学　免疫学・医動物学講座　助手
平成７年　４月　兵庫医科大学　免疫学・医動物学講座　学内講師
平成９年　４月　兵庫医科大学　先端医学研究所生体防御部門　講師
平成２１年　４月　兵庫医科大学　生物学教室　准教授
兵庫医科大学　先端医学研究所生体防御部門　准教授（兼任）
平成２５年　１月　兵庫医療大学　共通教育センター　准教授
平成２５年　１０月　兵庫医療大学　共通教育センター　教授

医療職体験イベント

平成２５年１０月１３日、海皐祭（大学祭）の２日目、医療職体験イベント「医療のお仕事体験してみませんか！？」を開催しました。

このイベントは、本学教員が講師となり、医療の仕事に興味を持つ高校生及び中学生等を対象として、医師、薬剤師、看護師（助産師・保健師）、理学療法士、作業療法士の仕事を体験していただき、本学のことをもっと知っていただくことを目的にしたもので、当日は子供さんから大人の方まで幅広い層の方々に参加いただきました。

◆医師体験ブース◆

身体の内部を観察する際に使用する医療用超音波検査装置（エコー）を使って、今回は食品（こんにゃくや卵など）の内部がどのようになっているのかモニターを見ながら観察しました。また、腕の模型を用いて縫合を実際に行うなど医師の仕事を体験いただきました。

◆薬剤師体験ブース◆

参加者にはまず最初に白衣を着てもらい、粒状のチョコレートを薬の錠剤に見立てて、自動で薬を分包する機械の操作を行っていただきました。軟膏作りでは、ペースト状になったそれぞれの薬の重さを量って混ぜ合わせて軟膏を作り、容器に詰めていく仕事も体験いただきました。

◆看護師体験ブース◆

聴診器を使って、血液が流れる音など体内の様々な音を実際に聴いていただきました。日頃なかなか触れることがない血圧測定器などを実際に自分で操作するなど、訪れた方々は、看護師としての仕事の一端を興味深く体験していました。

◆理学療法士体験ブース◆

大学に入ってからの学びや理学療法士として行う仕事内容などについて、展示しているたくさんの写真を見てもらいながらイメージを持ってもらえるよう、理学療法士の教員から説明を行いました。

◆作業療法士体験ブース◆

作業療法の治療のなかで用いられるボードトレーナーを体験いただきました。このトレーナーは、関節可動域の改善や動作の敏捷性など全身の運動を促すための道具で、小さな子供さんは、ゲーム感覚でとても上手に操作されていました。訪れる方のなかには、作業療法士がどういった仕事に就いているのかなど、大学での学びも含めて作業療法士の教員から話を聞いていました。

◆キャンパスライフ展示コーナー◆

２つの大きなテレビモニターを使用し、１つは本学が積極的に取り組んでいるチーム医療の紹介をムービー形式で常時放映し、もう１つはキャンパスライフとして、クラブ活動や学内行事の様子をスライドショー形式で紹介しました。

◆入試相談コーナー◆

入試相談コーナーでは、受験を控える高校生やその保護者の方を対象に、本学の教育体制や入試制度などについて説明を行いました。

兵庫医療大学 第6回 海皐祭

晴れ渡る秋空の下、第6回海皐祭を開催しました。大学行事実行委員会の学生たちは、この日のために企画・準備を重ね、当日は先輩・後輩と一緒になり、教職員、家族、友人、卒業生、近隣の方々との交流を深めることができました。

10/12～10/13

Slogan

抱夢～HOME～

開学7年目の今春、薬学部からも第1期生が卒業し、これで全学部から卒業生が社会に巣立ちそれぞれ夢へ1歩を踏み出しました。今年のスローガン「抱夢～HOME～」には、全在学生が将来の夢に向かって勉学に励んでいる中、卒業された先輩方や、地域の方々にとって兵庫医療大学がHOMEになるようにという思いが込められています。

●模擬店・展示

P棟とG棟の間のキャンパスモールに、クラブ・サークルや学部学科ごとの模擬店26店舗と、M棟の展示・体験には5ブースが出店しました。模擬店では、毎年恒例のやきそばや今年大人気のパンケーキなど様々なお店が並び、海皐祭を盛り上げていました！

●学部別イベント

薬学部

レストランにて、学生手作りの漢方茶をふるまい、学生や近隣の方が来場されました。漢方について興味のある方が多く、学生スタッフの話を熱心に聞いておられました。

看護学部

“リラクゼーション”をテーマに「アロマオイルを用いたマッサージ」を実施。学生が一人ひとり丁寧に手浴をし、来場者は香りを楽しみながら、日々の体の疲れを癒しました。

理学療法学科

テーマは“自分の体を知ってみませんか”。学生スタッフのサポートのもと、筋力測定や車いす体験を通して、理学療法に関係する様々な体験を行っていました。

作業療法学科

「革細工・プラバン作製」を実施し、来場者は世界でたった一つのキーホルダーを作製しました。学生スタッフのアドバイスを受けとても真剣に取り組んでいました。

●ステージ、ライブイベント

芝生広場の特設ステージでは、大学行事実行委員会の企画による各種コンテストやライブイベントなどが行われました。

1日目

- ベストカップルコンテスト
- 女装コンテスト
- Jazzバンド部吹奏楽団
- 軽音楽部ライブ
- お笑いライブなど

2日目

- Ms.&Mr.コンテスト
- ダンスサークルステージ
- アーティストライブ
- ビンゴ大会など

ステージ上の出演者も、観客席の皆さんも、大いに盛り上がっていました。学内コンテスト投票はすべて10円玉で行い、集まったお金は公益財団法人みちのく未来基金に寄付させていただきました。

●サブステージ

今年初めての試みで、P棟北側と南側をつなぐ渡り廊下の下に、サブステージを作りました。サブステージでは各模擬店のPRや、大道芸人イベント、Jazzバンド部の演奏などが行われました！

学祭 photo album

◆開会式、開会宣言
実行委員長の開会宣言で海皐祭スタート！

◆課外活動奨励賞
今年はバスケットボール部とバドミントン部が課外活動奨励賞を受賞し、表彰されました。

◆リサイクルマーケット
2日目に行われ、本学卒業生も出店し、地域住民の方との交流を深めていました。

◆移動動物園
学生はもちろん、近隣の家族連れの方達もかわいい動物たちとふれあいました。

◆理事長の似顔絵コーナー
レストランにて新家理事長が似顔絵を描かれました。

第３回ホームカミングデイ開催

平成２５年１０月１２日海鳥祭（大学祭）の１日目、今年で３回目を迎えるホームカミングデイを開催し、７０名の卒業生に参加いただきました。

平成２５年３月に、６年制の薬学部からも第一期生が卒業し、これで本学の全学部学科から卒業生を社会に送り出すことができ、全学部の卒業生が揃ったことで同窓会の設立に向けた機運が高まっていたことから、今回同窓会設立発起人会が発足し、今後正式な発足に向けて順次取り組んでいくことになりました。

第１部　ホームカミングデイ（15：00～16：30）

兵庫医療大学レストラン２階において、教職員も交えて懇親会を行いました。

馬場学長からの挨拶の後、懐かしい同期生や教職員とともに交流していただきました。

第2部　同窓会設立発起人会・懇親会（17：00～19：00）

場所を大学から近くのホテルに移して、同窓会を発足させるための発起人会と懇親会を行いました。

今回集まった卒業生の中から会長等役員候補が決まり、今後正式発足に向けて動き出すこととなりました。

第３回神戸マラソンを応援

平成２５年１１月１７日、第３回神戸マラソンが開催され、好天に恵まれた当日は約２万人のランナーが神戸の街を駆け抜けましたが、本学においても、校舎北側道路がマラソンコースになっていることから、沿道にのぼりや応援メッセージを掲げ、ゴールまで残りわずかとなったランナーへ声援を送りました。

この大会には、例年、本学の多くの在学生が、救護スタッフ、走路スタッフやゴール付近での手荷物の返却スタッフとして参加し、ランナーへのサポートを行っています。

また、ゴール地点付近では、本学Jazzバンド部が演奏を行い、ランナーの皆さんの健闘を称えていました。

黄色の上着を着た学生は、主にゴール付近での手荷物の返却
赤色の上着を着た学生は、各所に設けられた救護スペースでのサポート

平成２６年度 兵庫医療大学 入学試験　速報

推薦入学試験結果

専願公募制　試験期日：平成２５年１１月２日（土）
合格者発表：平成２５年１１月１２日（火）

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部　医療薬学科	２０名	５４名	５３名	２５名	２．１倍
看護学部　看護学科	２５名	１７５名	１７５名	２５名	７．０倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	１０名	１２０名	１２０名	１４名	８．６倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	１５名	５２名	５１名	１５名	３．４倍

※実質競争倍率は「受験者／合格者」

公募制Ａ日程　試験期日：平成２５年１１月３日（日）
合格者発表：平成２５年１１月１２日（火）

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部　医療薬学科	１５名	１９１名	１８９名	６２名	３．０倍
看護学部　看護学科	１０名	２７３名	２７３名	３０名	９．１倍

公募制Ｂ日程　試験期日：平成２５年１２月７日（土）
合格者発表：平成２５年１２月１３日（金）

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部　医療薬学科	１０名	１４２名	１４１名	２７名	５．２倍

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験

一般入学試験

前期Ａ日程

募集人員	薬学部 医療薬学科　３５名 看護学部 看護学科　５０名 リハビリテーション学部 理学療法学科　２０名 リハビリテーション学部 作業療法学科　１３名	
試験科目	薬学部	外国語（１００点）、数学（１００点）、化学（１００点）
	看護学部	外国語（１００点）、国語（１００点）、 化学・生物から１科目選択（１００点）
	リハビリテーション学部 理学療法学科	外国語（１００点）、数学（１００点）、 化学・生物から１科目選択（１００点）
	リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語（１００点）、国語（１００点）、 化学・生物から１科目選択（１００点）
出願期間	平成２６年１月９日（木）～平成２６年１月２３日（木）　消印有効 ［窓口出願］　平成２６年１月２４日（金）　午前１１時～午後５時	
試験期日	平成２６年１月３１日（金）	
試験会場	薬学部 リハビリテーション学部	兵庫医療大学
	看護学部	神戸ポートピアホテル
合格者発表	平成２６年２月７日（金）	

前期Ｃ日程

募集人員	薬学部 医療薬学科　１５名
試験科目	化学（１００点）、外国語・数学から１教科選択 （２教科を受験した場合は高得点の１教科を合否判定に使用）（１００点）
出願期間	平成２６年２月３日（月）～平成２６年２月１０日（月）　消印有効
試験期日	平成２６年２月１６日（日）
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成２６年２月２１日（金）

大学入試センター試験利用入学試験

前期日程

募集人員	薬学部 医療薬学科　５名 看護学部 看護学科　５名 リハビリテーション学部 理学療法学科　２名 リハビリテーション学部 作業療法学科　２名	
試験科目	薬学部	外国語（１００点）、化学Ⅰ（１００点） 生物Ⅰ・物理Ⅰから１科目選択（１００点）
	看護学部	外国語（１００点）、国語（１００点）、 化学Ⅰ・生物Ⅰから１科目選択（１００点）
	リハビリテーション学部 理学療法学科	外国語（１００点）、国語（１００点）、 化学Ⅰ・生物Ⅰ・物理Ⅰから1科目選択（１００点） 数学①（数学Ⅰ・数学Ⅰ Aから1科目選択）と 数学②（数学Ⅱ・数学Ⅱ Bから1科目選択）の合計（１００点）
		※上記４教科から３教科選択、４教科を受験した場合は、高得点の３教科を合否判定に使用
	リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語（１００点）、国語（１００点）、数学（１００点）
出願期間	平成２６年１月９日（木）～平成２６年１月２９日（水）　消印有効	
合格者発表	平成２６年２月７日（金）	

前期Ｂ日程

募集人員	薬学部 医療薬学科　２５名 リハビリテーション学部 理学療法学科　６名 リハビリテーション学部 作業療法学科　８名	
試験科目	薬学部	外国語（１００点）、化学（２００点）
	リハビリテーション学部 理学療法学科	外国語（１００点）、数学（１００点）
	リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語（１００点）、数学（１００点）
出願期間	平成２６年１月９日（木）～平成２６年１月２３日（木）　消印有効 ［窓口出願］　平成２６年１月２４日（金）　午前１１時～午後５時	
試験期日	平成２６年２月１日（土）	
試験会場	兵庫医療大学	
合格者発表	平成２６年２月７日（金）	

後期日程

募集人員	薬学部 医療薬学科　１０名 看護学部 看護学科　７名 リハビリテーション学部 理学療法学科　２名 リハビリテーション学部 作業療法学科　２名	
試験科目	薬学部	外国語（１００点）、化学（２００点）
	看護学部	外国語（１００点）、国語（１００点）、 化学・生物から１科目選択（１００点）
	リハビリテーション学部 理学療法学科	外国語（１００点）、小論文（１００点）、 化学・生物から１科目選択（１００点）
	リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語（１００点）、小論文（１００点）、 化学・生物から１科目選択（１００点）
出願期間	平成２６年２月１４日（金）～平成２６年２月２４日（月）　消印有効	
試験期日	平成２６年３月１日（土）	
試験会場	兵庫医療大学	
合格者発表	平成２６年３月７日（金）	

後期日程

募集人員	薬学部 医療薬学科　５名 看護学部 看護学科　３名	
試験科目	薬学部	化学Ⅰ（１００点）、 生物Ⅰ・物理Ⅰから１科目選択（１００点）
	看護学部	外国語（１００点）、国語（１００点）、 化学Ⅰ・生物Ⅰから１科目選択（１００点）
出願期間	平成２６年３月１２日（水）～平成２６年３月２０日（木）　消印有効	
合格者発表	平成２６年３月２６日（水）	

※詳しくは平成26年度学生募集要項をご確認ください。

平成２６年度兵庫医療大学大学院　入学試験　速報

薬学研究科入学試験

Ⅰ期

試験期日：平成２５年９月２８日（土）
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成２５年１０月９日（水）

受験者	―
合格者	―

※未実施

Ⅱ期

出願期間：平成２６年１月１４日（火）～平成２６年１月２１日（火）必着
試験期日：平成２６年１月２５日（土）
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成２６年２月５日（水）

看護学研究科入学試験

Ⅰ期

試験期日：平成２５年９月２８日（土）
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成２５年１０月９日（水）

受験者	１名
合格者	１名

Ⅱ期

出願期間：平成２６年１月１４日（火）～平成２６年１月２１日（火）必着
試験期日：平成２６年１月２５日（土）
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成２６年２月５日（水）

医療科学研究科入学試験

試験期日：平成２５年９月２８日（土）
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成２５年１０月９日（水）

受験者	９名
合格者	９名

入試対策講座＆大学見学会 開催

平成２５年１１月２４日、オクタホールにおいて、入試対策講座を開催しました。本学の一般入学試験の受験を考えている高校生を対象としたもので、入試ガイダンスのあと、予備校の講師による、「英語」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」、「生物Ⅰ」の本学入試傾向や今後の試験対策に関する講義を行い、多数の高校生が受講しました。

なお、当日は、大学見学会も併せて開催され、来場者は在学生スタッフ・教職員と各種相談コーナーやキャンパスツアーで交流し、これからの受験に向けた情報収集に余念がない様子でした。

大学病院のトップブランドを目指して

兵庫医科大学病院　病院長　**太城 力良**

新年あけましておめでとうございます。

昨年２月には新しい電子カルテやＰＡＣＳの導入、４月には急性医療総合センターが運用を開始し、ハイブリッド手術室、手術支援ロボット（ダヴィンチ）もほぼ順調に稼働しています。また、医療人育成センターに認定看護師教育課程（手術看護分野）を設置しました。本年は、手術症例数の増加や高度救急患者の受け入れ態勢の充実をはじめ、急性医療総合センターを十分に活用した高度急性期医療の推進の年にしたいと思っています。また、がんセンターの体制を強化して、がん診療の充実にも努めたいと思っています。そのためには、地域連携活動の広域化、資格取得サポートなどの職員研修の支援、新しい臨床研修制度の導入も必要と考えています。

本年は午年、「心をもってせざれば名馬生まれず」ということわざがあります。読んで字のごとく真心と熱意・愛情をもって馬を育てないと名馬は生まれないという例えです。本学病院は医育施設であり多岐にわたる専門医の研修施設でもあります。我々教職員が熱意と愛情をもって学生や新規入職者を育て、名医、名看護師、名医療従事者を数多く育て、患者さんに安心・安全な医療、高度な医療を提供できるよう、信頼できる病院づくりに一丸となって進んでいきたいと思います。そして、学校法人兵庫医科大学が医系大学のトップブランドと誰もが認める日を早く迎えたいと思っています。

フィリピン台風被害に対する国際医療支援活動

救命救急センター
千島佳也子副看護師長

１１月８日フィリピン共和国を襲った台風３０号（Ｈａｉｙａｎ）被害に、国際緊急援助隊医療チームの１次隊として１１月１１日より２週間派遣されました。治安悪化の問題もあり、レイテ島タクロバン市に入ったのは発災１週間後でした。そこに広がる景色は、東日本大震災で目の当たりにしたものと重なるものでした。強風と高潮の被害による衛生状態も悪く、感染創や気管支喘息の患者も多くみられました。道の両脇にはヘドロの付いた瓦礫がいたるところにありましたが、診療を開始して５日目には、市内の道路の瓦礫はほとんど一掃され、商店が開き交通量も増えて、フィリピンの方々の復興への力強さを感じました。

また今回、警察やセキュリティー、通訳５０名にも及ぶフィリピンの方々と活動し、家族同様の生活を共にしました。フィリピンの方々の笑顔に支えられ、活動を終えることができました。被害の範囲が広く、今回共に活動した仲間が残るフィリピンへ、これからも何らかの支援をし続けたいと考えています。

レイテ島タクロバンの様子

診療テント

帰国後の報告会